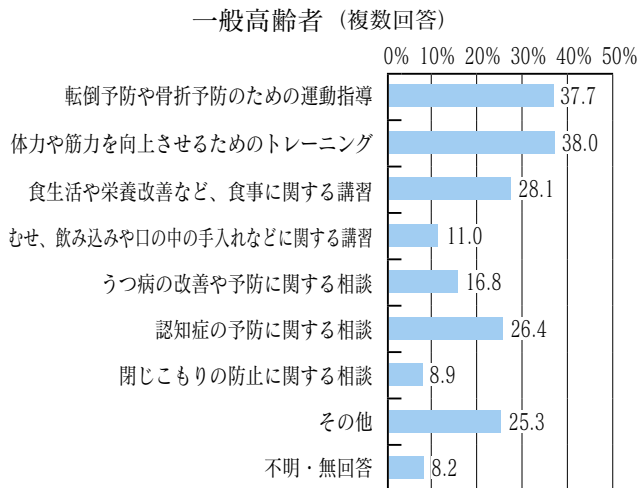


◇介護や介護予防について【介護予防事業でやってみたいこと・知りたいこと】◇



“介護予防事業でやってみたいこと・知りたいこと”では、「転倒予防や骨折予防のための運動指導」「体力や筋力を向上させるためのトレーニング」という回答が多くでました。これは、「体力や筋力の低下による足腰の衰え」「転倒による骨折」が、健康な日常生活を大きく損なうという意識の現れだと思われます。

町の健康福祉課が実施する介護予防事業では、「運動機能向上教室」「太極拳教室」「はつらつ体操教室」など転倒予防・腰痛などの軽減を図る教室を開催しています。また、

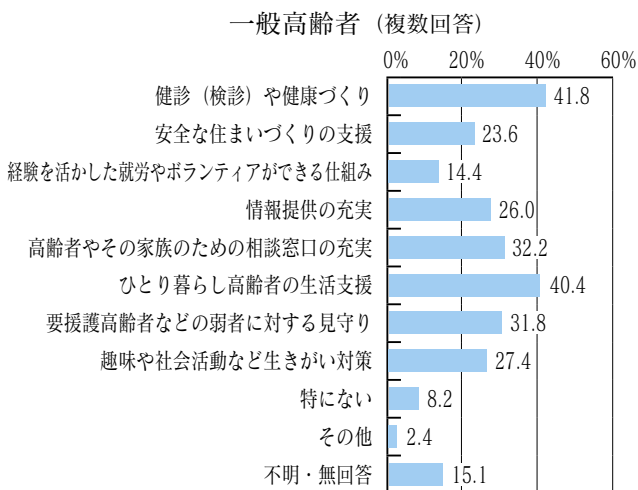


▲平成20年度に県社協が行う“元気度向上モデルサロン事業”を行った桂ヶ丘区の皆さんと地元桂川出身の“ふくおか健康隊”の皆さん。参加者からは、「仲間もでき、健康を意識するようになり良かった！」との声などが多く聞かれました。

社会福祉協議会が地域で行うサロン事業などもあります。

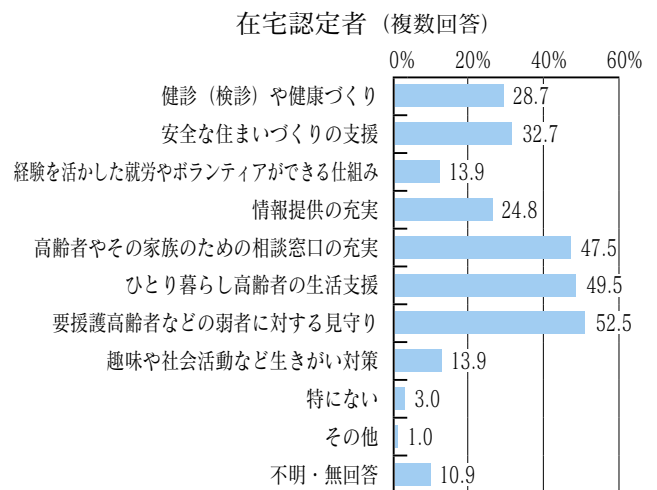
「食生活や栄養改善など、食事に関する講習」については、町の管理栄養士等による栄養指導や栄養講習会を実施しています。栄養講習会では、生活習慣病や寝たきりを予防し、楽しい食生活を送ることで介護を必要とせず自立した健やかな高齢期を過ごすことができるよう、各地区公民館等において、高齢者のためのバランスのとれた食事の試食、講話及び血圧測定、健康相談や健康体操を実施しています。

◇高齢者福祉などについて【桂川町の高齢者福祉施策で今後力を入れるべき点】◇



“桂川町の高齢者福祉施策で今後力を入れるべき点”では、一般高齢者は「健診（検診）や健康づくり」や「ひとり暮らし高齢者の生活支援」という回答が多くなっています。

在宅認定者については、「要援護高齢者などの弱者に対する見守り」「ひとり暮らし高齢者の生活支援」「高齢者やその家族のための相談窓口の充実」などの回答が多く見られました。



また、「情報提供の充実」についても一般高齢者・在宅認定者ともに回答が多くありました。

これらはまさに、これからの桂川町の高齢者福祉施策の方向性を見出すカギとなるものです。

それぞれのご意見については、今年度計画されている高齢者福祉事業での対応や、さらなる課題解決へ向けた取り組みとさせていただきます。